

クリエイティブ京都^{M&T}

Jan. 2007

01

No. 019

Management & Technology for Creative Kyoto

がんばる企業をサポートするビジネス情報誌

CONTENTS

平成19年 年頭のあいさつ	1 ▶ 2
特別寄稿	3 ▶ 4
京都ビジネスパートナー交流会2007	5 ▶ 6
創援隊交流会	7 ▶ 8
中小企業総合展報告	9
若者と中小企業とのネットワーク事業	10
産学公連携	11 ▶ 12
設備貸与制度	13 ▶ 14
受発注コーナー	15 ▶ 16
お客様相談室事例紹介	17
バイオ産業創成研究会	18
研究報告から	19
新規導入設備紹介	20
調査レポート～2007 景気見通し～	21 ▶ 22
行事予定表	23

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/>

財団法人 京都産業21 京都府中小企業技術センター

成長へ イノベーションに挑戦

京都府産業支援センター会長 立石 義雄



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の干支は丁亥(ひのと)い。亥(イノシシ)は勢いがよく、勇気と躍進の象徴とされています。財団法人京都産業21と京都府中小企業技術センターの2つの組織のホールディングカンパニーのイメージで設置された京都府産業支援センターは3年目を迎えます。2つの組織による「経営」と「技術」の両面から中小企業の皆様へお役に立つサービスの一層の充実に取り組み、低成長下での景気拡大ではありますが景気に明るさが見えてきた好機を活かし、力強い成長につなぐ躍進の年にしたいと思っております。

昨年、安倍内閣が発足しましたが、そのキーワードの一つはイノベーションです。イノベーションとはノーベル賞に代表されるような新たな先端的な科学や技術による社会への新しい価値の創造という側面もさることながら、既存の科学や

技術を融合的に活用して、誰もが使えるような機能、品質、コストなどを追求した商品やサービスを創造し、社会に新しい価値を創造する、「アプリケーション」におけるイノベーションという側面も重要であります。

科学技術創造立国を目指す日本の第三期科学技術基本計画の基本姿勢に掲げられている「社会・国民に支持され、成果を社会に還元する科学技術」を、私はそのように解釈するとともに、イノベーションの原動力は企業家が担っていくものと考えています。

また、安倍首相が就任直後に韓国、中国を訪問したことは、今後の日本の成長はアジアの成長とともにあることを実感させるものでした。急速に工業化の波に乗って成長するアジアですが、その一方では、環境、エネルギー、資源、産業廃棄物、安全、安心、健康、福祉、教育、人権など持続可能な人間社会を構築するための課題が顕在化しつつあります。その歩みは戦後の日本の歩みと重なるものです。一足先に経験で得た知恵を蓄積してきた日本企業には、アジアの新たな諸課題の解決に対しても自社の強みを活かしたイノベーションに挑戦し、貢献していく経営が求められます。それが、アジアの成長ダイナミズムを取り込み、アジアとともに成長するための鍵であり、京都企業にとっても中長期的な成長づくりにつながるものと考えています。

特に京都は、長い歴史の中で蓄積され、洗練された技術と人間性豊かな生活文化、また、大学、研究機関における新たな知の創造サイクルを有しており、アジアと日本の成長に貢献するイノベーションの創造が期待される有力な地域であると信じております。

京都府産業支援センターといたしましては、そのような京都の基盤を支える中小企業の皆様との接点を強みとして、京都府北部地域から「けいはんな学研都市」を含む南部地域にいたる京都の高いポテンシャルを活かして、昨年7月に発足した京都試作センター株式会社と連携した試作産業をはじめ、ケータイ、環境、ウェルネスなどを重点分野としたイノベーションの創出に取り組んでまいりたいと考えております。

皆様の一層のご理解とご利用をお願い申し上げますとともに、新年にあたり、皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心から祈念いたします。

地域力再生元年…明日へ希望のもてる「京都」のために

京都府知事 山田 啓二



府民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年春、多くの府民の皆様からご信託をいただき、再び府政の舵取りを担わせていただくこととなりました。本年も皆様からいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、よろしくお願いいたします。振り返りますと、昨年は、経済・雇用情勢に徐々に明るさが増してきた一年でしたが、その一方で、府内でも児童虐待により幼い命が失われるという事件が起きるなど、全国で子どもたちをめぐる痛ましい事件が続発した年でもありました。京都府としては、事件の経過を徹底的に検証し、その反省の上に立って、二度とこのようなことがないように、全力を尽くす決意を新たにしております。

府政の基本は、何よりも府民の皆様への安心・安全の確保であり、その上に立って、誰もが明日に希望をもって暮らせる京都づくりをしていかなければなりません。そうした観点から昨年は、地域の安心・安全のために、府内の全小学校区で子ども・地域安全見守り隊の結成をお願いし、また、現場警察官や交番相談員を大幅に増員いたしました。さらに、都道府県では初めて、障害者自立支援のため独自の負担緩和策を講じるとともに、医師不足の進む府北部の病院に産婦人科医を派遣するなどの取組を進めてまいりました。こうした安心・安全のための施策に、多くの府民の皆様からご支援とご協力をいただき、改めて心より感謝を申し上げる次第です。

今、私たちの社会は安心・安全の問題をはじめ、教育や家庭の問題、中小企業や農林水産業の振興、環境の保全や文化の振興、地域間格差の問題など、解決しなければならない多くの課題を抱えています。とりわけ核家族化や少子高齢化の進行などを背景に、人と人との関係が希薄化し、人々が孤立化する中で、社会を支えてきた地域の力が衰えつつあり、貧富や地域間の格差の拡大がこうした傾向に拍車をかけ、温かく地域の人を見守る社会が失われつつあることが、何より心配されます。

それだけに、京都府としては、地域における信頼と絆の力を再生し、出来る限り人と人とのネットワークを強化し、京都のもつ産学公の力を結集することにより、誰もが明日に希望のもてる社会づくりに、これからも全力を挙げて取り組んでいきたいと思っております。

まさに今年を京都府の「地域力再生のための新たなスタートの年」と位置付け、市町村との連携のもと、積極的な施策の展開に努め、文化や環境など京都が古くから育んできた伝統を活かし、東京にはない京都の価値を広く内外に発信していきたいと思っております。

私たちは、北から南までこの豊かで実り多いふるさとに誇りを持ち、人と人との信頼と絆を強め、弱い立場にある人たちをしっかりと支えながら、「安心・安全、希望の京都」を府民の皆様と一緒につくり上げるため、本年も職員一同、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに当たり、この一年の府民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

地域の視点から「新経済成長戦略」を考える

経済産業省の「新経済成長戦略」は一般に評判が良く、政府もイノベーションを軸とする新経済成長という方針でまとまっているようである。それが霞ヶ関、財界だけではなく、日本の多くの人々によって共有しうる思考になりうるのであれば、今後の日本経済は少なくとも2%を越える成長も可能となり、多くの難題を解決していく突破口も見えてくるであろう。

そういう楽観を述べると、ただちに、あれは総論であり、具体論が見えないという批判が聞こえてくる。また、その鎧の下には、かつての通産省が音頭をとって産業・企業を動員した古い型の産業政策が覗いており、日の丸型の政策が復活するのではないかという批判もある。しかし、私は現在すぐに具体論を問う必要はないと考える。むしろ必要なことは、思考を深めていくことである。というのは、真の不確実性の時代には、具体的な行動を導く判断の根底にあるものを論じ、各経済主体が状況の変化によってぶれない思考の「芯」を共有しうるのが肝要だからである。もちろん、問題の範囲が広いので、誰もが同じレベルの理解をもったり、共通の知識を保有したりすることは不可能であるが、それでも限定された知識のなかである種の共通認識をもつことが必要であり、それがまた現代の複雑な世界を対象とした知識共有のあり方（最近の経済学という限界合理性）でもある。

そこで、そのような意味での共通認識が可能かどうかの判断材料として、ひとつの問題提起を試みよう。「新経済成長戦略」では「高度な部品・材料産業や基盤産業をはじめとする『ものづくり』」が成長戦略の重要な柱になっている。本誌の読者層の多くの方々はその種の「ものづくり」論にはご賛成であろうし、私もそうである。しかし成長戦略というからには、着地点においてわれわれの経済社会がどういう姿になっているかというイメージが必要である。確かに「新経済成長戦略」の本には、福祉問題とか少子化対策などを含めて、すべての問題が視野には入っている。しかし、それぞれの領域で「時間軸」における問題の焦点が異なるというプロセス論にまでは及んでいない。少子化対策などは50年後の問題に今から手を打たねばならないものに対して、「ものづくり」は、既にほぼ骨格の出来ているシステムが将来どのように維持できるのかという問題である。問題の性質をもっと明瞭にするために、一つの表を引用してみよう。

次の表1は、数年前にノーベル経済学賞を受賞したロバート・フォーゲル教授（計量経済史）が作成した最近100年間におけ

る分野別の消費支出割合の変化であり、ここには実に驚くべき数字が示されている。すなわち、130年前の1875年には消費支出のうち衣・食・住に74%を使っていたのに対して、1995年にはその比率が僅か13%に下がっており、なんと消費支出の半分以上の68%を「余暇」（広義）のために使っているということである。



京都府特別参与 今井 賢一

表1 分野別消費と所得弾力性の長期的な傾向

消費の分類	消費割合 (%)		長期の所得 弾力性
	1875	1995	
食料品	49	5	0.2
衣服	12	2	0.3
住居	13	6	0.7
健康	1	9	1.6
教育	1	5	1.6
雑費	6	7	1.1
余暇	18	68	1.5

備考:「余暇」の数値は余暇時間を金額換算したものである。

「健康」と「教育」には、政府と雇用主負担を含む。

出所: Robert Fogel, The Fourth Great Awakening and the Future of Egalitarianism, The University of Chicago Press, 2000.

ノーベル賞の權威に頼っているわけではないが、こういう計量的な問題提起が正しいとすると、「ものづくり」への需要は将来どうなっていくであろうか。余暇のためにも、また健康や教育のためにも「もの」は必要であり、「ものづくり」といっても物質的なものだけではなく、設計やソフトウェアが必要ではあるが、基本的には衣・食・住からのニーズが「もの」への需要を生み出すと考えざるをえない。少し大げさにフォーゲル教授流に言えば、われわれの先進国社会では物質的欲求は既に十分に満たされており、人々はここで余暇といわれている時間のなかで何らかの自己実現をもとめる新しい時代（教授のいう「第4の覚醒の時代」）に入りつつあるようである。そうであれば、その時代にあった「ものづくり」を構想していかない限り、「新経済成長戦略」が目指した着地点に到着したときには、過剰な「ものづくり」能力

を囲い込んでいるということになりかねない。

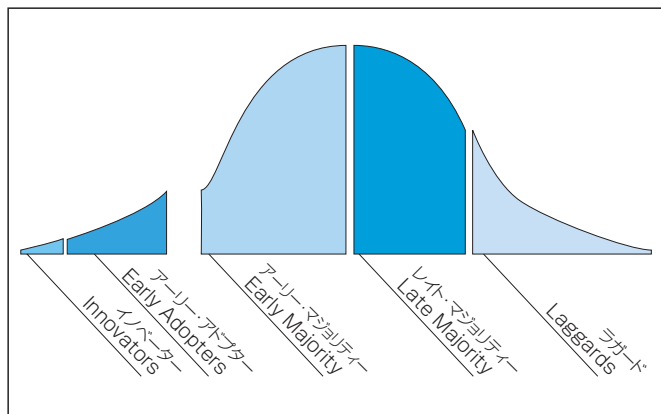
こういう問題を持ち出したのは、もちろん「ものづくり」重視に反対するためではない。むしろ、これから10年間は確実に日本にとって「比較優位」のある「ものづくり」に力点を置いて生産性を上げ、「新経済成長戦略」の目標をなんとしても実現していくべきだ。われわれにとって、それ以外の選択肢はありえないであろう。しかし、それは目標とする到達点ではない。日本という国が目指すべきところを見通せる尾根に辿り着くことなのである。当面の成長が出来ずに道を誤れば、われわれは将来驚くべき迷路に入り込むことになる。

本稿の初めに、具体論を性急に求めず、まずは総論での合意が必要だといったのは、1例としてあげた以上のような議論も含めて議論を行い、批判とも共存しうるような共通認識を持つことの重要性を強調したかったからである。

そのことを前提として、具体論に入る際のポイントを考えてみたい。それには、ハイテクにおけるマーケティング論の傑作であるジェフリー・ムーアの「キャズム論」(深い溝の議論)を適用することが近道であろう。最初は、別種の問題ではないかと思われるかもしれないが、本質的な論理は同じなのである。

とりあえず、何らかのハイテク製品、例えばあるソフトウェアの普及過程を念頭において図1を左からご覧いただきたい。

図1 「深い溝」をどう乗り越えるか



出所:ジェフリー・ムーア、川又政治訳『キャズム:ハイテクをブレイクさせる「超」マーケティング理論』翔泳社、2002。

まずは、その製品の「イノベーター」が登場し、彼らが自ら開発した製品を市場に持ち込む。次に、その製品の性能を評価した「アーリー・アダプター」が採用を決めてその製品をある程度まで普及させる。そして、その利用事例をみてマジョリティが購入しますが、それも積極的に使う「アーリー・マジョリティー」とやや遅れて使います「レイト・マジョリティー」とに区別される。最後に登場するのが「ラガード」で、これは遅れて追従していく層である。問題のポイントは、いま説明したそれぞれの層の間に「われめ」が存

在するのだが、二番目の「アーリー・アダプター」と三番目の「アーリー・マジョリティー」の間の「われめ」はきわめて大きいということである。キャズム論の著者ムーアはこの大きな「われめ」のことを「深い溝=キャズム」と命名し、その溝をどう越えるかが、ハイテク・マーケティングのポイントだと考えるのである。そして、その理由の説明を容易にするために、「アーリー・アダプター」の人々を「別名:ビジョナリー」と呼び、「アーリー・マジョリティー」の人々を「別名:実利主義者」と呼んで、両者の性格の差異が深い溝を作り出すことを説得的に説明している。

ここまでくれば、つまり「ビジョナリー」と「実利主義者」という別名がでてくれば、われわれの問題、すなわち新経済成長論における総論と具体論の関係の問題に翻訳することは簡単である。すなわち、新経済成長論の原案は、経産省において、図1でいう「イノベーター」に相当する人々が書き、省内で合意をうるとともに、政界や財界のしかるべき人達、つまり「ビジョナリー」の賛成をえて、それらの人々の間では総論としての共通認識が出来つつあるといえるであろう。ところが、そこからさらに具体論に進もうとすると、「実利主義者」との意見の違いや対立が問題にならざるをえない。

両者の性質は明らかに違うのである。私の偏見ではないかという誤解のないように、ここではムーアの言葉をそのまま引用しておこう。「ビジョナリーは未来を体現しようとする人たちである。新しい技術の可能性をよく理解している。頭の回転の速い人と話すことを好み、産業界のありふれた話にはすぐに退屈してしまうタイプである。——それに反して、実利主義者は未来的なものにはあまり関心を示さない。彼らは現実を直視するタイプであり、自分たちの業界の発展をいつも考えている人たちである。」

「ビジョナリーは、自分たちのビジョンを具現化するためなら、システムを一からつくることもいとわず、このときシステムをつくるためのコンポーネントが手軽に入手できるなどとは思わない。逆に、実利主義者にとっては、それらがすべて揃っていないならば道突き進んでいる姿を見ると、その危なさゆえに実利主義者は思わず身震いする」といった具合である。

もちろん、このムーアの表現は差異を誇張しすぎているかもしれない。私自身、普段はむしろビジョナリーの議論を好む。新しいことを考えるのが学者の役割だからである。しかし、この10年間における新成長戦略に関する限り、ほぼ見通しがついており、それが実現すれば確実に生産性が向上するイノベーションに努力を集中し、日本経済をとにかく成長軌道に乗せるべきだと考える。具体的な構想を考えなければならない地域の立場からいえば、そういう意味での実利主義者の視点から図1で示したキャズム(深い溝)を埋めて欲しいと切に願うものである。

「京都ビジネス交流フェア2007」開催のご案内

産・学・公が集う！ 京都最大規模のビジネスイベント

- **日時** 2007年2月22日(木)～23日(金) 10:00～17:00(23日は16:30終了)
- **会場** 国立京都国際会館 京都市左京区宝ヶ池(地下鉄「国際会館」下車) ● **入場** 無料
- **主催** 京都府 財団法人京都産業21
- **後援** 近畿経済産業局、京都市、京都商工会議所、(社)京都工業会、(社)京都経済同友会(予定)

<p>中小企業展示コーナー 府内ものづくり中小企業による製品・技術、自社PR等の展示・商談会 出展者数:150社・グループ</p>	<p>イベントホール 両日開催10:00～17:00(23日は16:30終了) 市場開拓グループ TEL 075-315-8590</p>
<p>技術アライアンスコーナー 自社製品と品質向上(モデルチェンジ)、コスト削減、新商品の企画等のために新技術、新工法を求め他社との連携を模索するメーカーと、独自技術の開発等、優秀な技術を持ち提案型営業を得意とする中小企業とのマッチングの場を提供。</p>	<p>アネックスホール 両日開催11:00～16:00 市場開拓グループ TEL 075-315-8590</p>
<p>若者と中小企業とのネットワーク構築「プレゼン交流会」 中小企業の若手従業員の確保と若者の就職支援を図るため、若者と中小企業との出会いの場を創出。 対象:中小企業経営者(採用担当者を含む)、若手求職者、大学生等</p>	<p>Room D 両日開催13:30～16:30 経営改革推進グループ TEL 075-315-8848</p>
<p>きょうと連携交流ひろば2007 大学や金融機関、そしてすでに活動を始めた企業連携グループなどが集まり、展示やプレゼンテーションを通して新しい仲間を探しています。ぜひこの“連携交流ひろば”へお越しください、おもしろいテーマや仲間を見つけて、何か新しいプロジェクトと一緒に始めましょう。</p>	<p>Room E 両日開催10:00～17:00 (23日は16:30終了) 連携推進部 TEL 075-315-9425</p>
<p>京都“ぎじゅつ”フォーラム2007 *事前予約が必要です。定員150名 (1)平成18年度京都中小企業技術大賞 表彰式 (2)講演 テーマ 「多品種混流生産/瞬時切替プレスラインの開発」 講 師 株式会社エナミ精機 代表取締役 江波俊明氏</p>	<p>Room D 22日開催10:30～12:10 経営企画グループ TEL 075-315-8848</p>
<p>2007国際化セミナー *事前予約が必要です。定員120名 講演1 テーマ 「ベトナム経済の最近の動向と投資環境」(仮題) 講 師 ジェトロ本部海外調査部 課長代理 馬場雄一氏 講演2 テーマ 「タイの投資政策におよぼすEPA/FTAの影響について」 講 師 ジェトロ本部貿易投資相談センター アドバイザー 永井恒太氏</p>	<p>Room B1 22日開催13:30～15:30 ジェトロ京都デスク TEL 075-325-2075</p>
<p>京都試作フォーラム *事前予約が必要です。定員200名 (1)講演 テーマ 「世界の自動車開発拠点を狙った挑戦」 講 師 株式会社HIVEC(広島自動車デザイン開発会社) アドバイザー 田中昭文氏 (2)プレゼンテーション(京都試作のポテンシャル) ・京都試作センター事業について ・試作グループの紹介(6～7グループ予定)</p>	<p>Room B1 23日開催13:30～16:00 京都試作センター株式会社 TEL 075-316-2100</p>

誰でもつき合える機械ほど、
すごい技術が隠されている。

ひとりひとりの人に、
機械のほうから合わせてくれる。
そんな、人と機械の関係。
センシング&コントロール技術で、
人と機械のベストマッチングを。

OMRON
Sensing tomorrow™

[同時開催事業]

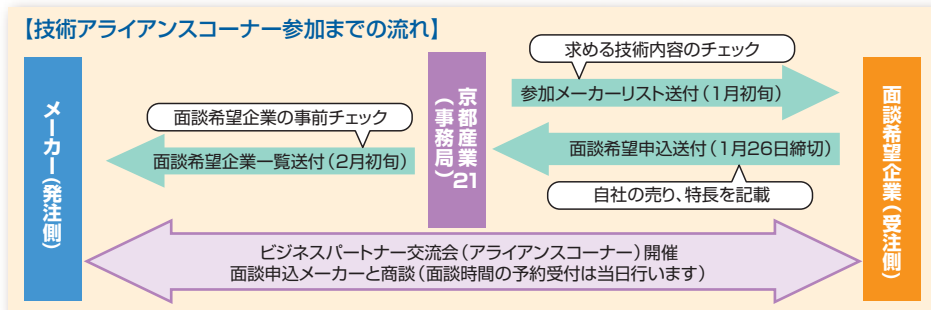
<p>インキュベートのみやこ事業 府内インキュベート施設・入居企業の製品・技術展示等の連携・マッチングの場 主催:京都産学公連携機構、京都府、京都市</p>	<p>Room C2 両日開催10:00~17:00(23日は16:30終了) 京都府商工部産業支援室 TEL 075-414-4854</p>
<p>2007京都・ビジネスマーケットプレイス「企業価値向上セミナー」 *事前予約が必要です。定員200名 講演 テーマ「JAXAにおける品質確保の取組みについて」 ~H-IIAロケット 打ち上げ再開、そして高い信頼性を実現するために~ 講師 独立行政法人宇宙航空開発機構安全信頼性推進部 部長 長谷川秀夫氏</p>	<p>Room A 22日開催13:30~15:00 京都商工会議所 京都・ビジネスモデル推進センター TEL 075-212-6470</p>

発注メーカー53社が参加!~技術アライアンスコーナー~

新たなビジネスパートナーを求め、京都府内外のメーカー53社が参加されます。大きなビジネスチャンスです。積極的なご参加を!

[参加メーカー一覧(50音順)]

- | | | | |
|----------------------|-------------------------|----------------------|------------------|
| 愛三工業(愛知県大府市) | 京都バステック(京都市) | ダイハツ工業(大阪府池田市) | 富士機械製造(愛知県知立市) |
| アイシン・エイ・ダブリュ(愛知県安城市) | (株)クボタ久宝寺事業センター(大阪府八尾市) | タイム技研(愛知県大口町) | 富士車輛(滋賀県守山市) |
| アイシン精機(愛知県刈谷市) | 五大エンボディ(京都市) | (株)太陽機械製作所(大阪府枚方市) | (株)不二鉄工所(大阪府交野市) |
| IDEC(長岡京市) | 湖北精工(滋賀県長浜市) | 太陽精機(滋賀県高島市) | 不二電機工業(滋賀県草津市) |
| (株)イシダ(滋賀県栗東市) | 三機商事(名古屋市) | (株)タカトリ(奈良県橿原市) | 富士電波工業(大阪市) |
| 岩谷瓦斯(滋賀県守山市) | サンコール(京都市) | TCM(滋賀工場(滋賀県近江八幡市) | ホンカワミクロン(大阪府枚方市) |
| (株)オーハシテクニカ(大阪市) | (株)島津製作所(京都市) | TMTマシナリー(株)石山工場(大津市) | (株)堀場製作所(京都市) |
| (株)オプトン(愛知県瀬戸市) | シャープ(大阪市) | 東レ・プレジジョン(大津市) | 本間工業(滋賀県栗東市) |
| オムロンヘルスケア(京都市) | 正保鉄工(名古屋市) | トキワ精機(滋賀県野洲市) | 村田機械(京都市) |
| (株)片岡製作所(京都市) | 神鋼造機(岐阜県大垣市) | (株)日本アルミ(滋賀県湖南市) | (株)村田製作所(長岡京市) |
| キャンマシナリー(滋賀県草津市) | 星和電機(城陽市) | 日本インフォメーション(愛知県豊田市) | ユアサ産業機器販売(大阪市) |
| 京都試作ネット(城陽市) | 星和電機(株)樹脂製品社(城陽市) | バンダー化学(神戸市) | (株)ユージン精機(京都市) |
| (株)京都製作所(京都市) | 大日本スクリーン製造(京都市) | (株)福井製作所(大阪府枚方市) | 竜王村田(滋賀県蒲生郡) |



[お申し込み・お問い合わせ先] (財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211 E-mail: market@ki21.jp

ベンチャー企業支援室のご案内

業務内容

- ベンチャーファンドによる株式投資やご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。
- 公的機関・大学等との連携により、各種支援施策の有効活用や技術情報の収集などを回り、ベンチャー企業の成長をバックアップしていきます。
- 色々な分野の専門家や専門機関を活用し、経営相談やM&Aなど幅広いニーズにお応えします。

支援施策

- ・KSOベンチャーファンド
- ・がんばれ中小企業・活き活き育成ファンド
- ・事業性融資
- ・各種支援機関紹介
- ・ビジネスマッチング
- ・セミナーなどの開催
- ・M&A仲介業務

飾らない銀行 **京都銀行** 法人金融部 **ベンチャー企業支援室** TEL.075(361)8600
 お問い合わせは **京銀KRPベンチャーデスク** TEL.075(315)9076

創援隊交流会 プレゼンテーション企業募集中!!

【創援隊は、京都府と京都産業21が結成を呼びかけた販路開拓を支援する専門家ネットワークです。】

京都府と京都産業21では、自社開発製品の販路開拓や技術等の売り込み先でお困りの地元ベンチャー・中小企業の方をサポートするため、創援隊交流会を開催し、参加する創援隊員のネットワークで、あなたの開発製品の販路開拓や技術の売り込をお手伝いをしています。

これまでに開催した創援隊交流会においても、企業からのプレゼンテーション、商品展示交流会の後、創援隊員からの技術や経営等積極的なアドバイスを受けると共に、創援隊員のネットワークによる売り込み先の紹介がありました。

現在、東京・京都両会場において開催する交流会への参加企業を募集しています。
あなたのお申し込みをお待ちしております。

※プレゼンテーション企業に対しては、専門家が事前にプレゼンテーションの指導を無料で実施します。

※創援隊交流会事業について「創援隊」のホームページ<http://www.ki21.jp/souentai/>をご覧ください。詳しくはお問い合わせ下さい。(お問い合わせは、お客様相談室:075-315-8660 担当:内田まで)

これからの「創援隊交流会」の予定

■平成18年度 第5回 創援隊交流会 東京会場

■開催日 平成19年1月31日(水) 14:00～

■場 所 泉ガーデンタワー7階(Room1・2)

■平成18年度 第6回 創援隊交流会 京都会場

■開催日 平成19年2月22日(木) 11:00～

■場 所 国立京都国際会館(Room-B2)

■平成18年度 第7(最終)回 創援隊交流会 東京会場

■開催日 平成19年3月15日(木) 14:00～

■場 所 泉ガーデンタワー7階(Room1・2)



THE KYOTO SHINKIN BANK

地域とともに コミュニティバンク

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

連携支援

京都信用金庫に連携支援部ができました。
中小企業がいろいろな得意な分野を相互補完することで、
大企業に負けない商品を生み出すのが「連携」です。

「こんな商品を作りたいけれど協力してくれる企業はない?」

「どこに販売したらいいの?」

「この商品のデザインを、若者に受けるデザインに変えたい。」

京都信用金庫の連携支援部は、このような新しい分野を切り開こうとする企業のために、協力できる中小企業や大学のパートナーを見つけます。

●現在、連携支援部では様々な分野で、連携・交流を進めています●

中小企業の「連携」に関する
ご相談をお待ちしています



京都信用金庫

連携支援部

京都市下京区四条通柳馬場東入
TEL(075)211-2111

これまでのプレゼン発表企業

※紹介件数は開催当日のもので、以降については調査予定です。

第1回 創援隊交流会
【6月29日:京都会場 於:新・都ホテル(京都市南区)】

- (株) マイクロリアクターシステム <http://www.c-mrs.com>
「シングルナノ金属超微粒子および応用製品」の販路開拓等のアドバイス支援
- (有) アクス京都 <http://www.acs-kyoto.com>
「ACS2000M型 簡易式濁水処理システム(モリンガ仕様)」の販路開拓及び取扱先の紹介
- タマヤ(株) <http://www.tamayakk.co.jp>
紙わざ多才、環境対応型新商品「フレッシュボックス」および「はがし太郎」の販路開拓等

総紹介件数 20件

第2回 創援隊交流会
【8月8日:京都会場 於:新・都ホテル(京都市南区)】

- (株) 東洋レーベル <http://www.toyolabel.co.jp/>
「TLアニバン(盛り上げ転写シール)」の販路ルートの開拓
- (株) ネットイン京都 <http://netin-kyoto.com/>
「共有型公衆ワイヤレスブロードバンド(WBB) サービス事業「ソラシド」設置連携先の獲得等
- マーフ工房 <http://maaff.com/>
「女性用見せるふんどし」の販路開拓等
- (株) セムテックエンジニアリング http://www.kuze.ne.jp/user/sem_tech/
「微細構造製品生産受託(エレクトロファインフォーミング加工)」による微細加工を必要としているお会社開拓

総紹介件数 8件

第3回 創援隊交流会
【10月27日:東京会場 於:泉ガーデンタワー(東京都港区)】

- タマヤ(株) <http://www.tamayakk.co.jp>
「フレッシュボックス」及び「はがし太郎」の販路・他業種紙素材活用先開拓
- 宮坂家具工芸(株) <http://www.miyasaka-zogan.co.jp/>
「KAORIGIウッドタタミ」の宣伝活動、販売店へのコンタクト、輸出関連先開拓
- (株) 秋江 <http://www.akie-net.com/index.html>
「秋江彩美術織」の販路・取扱先開拓
- (株) 加地 <http://www.kaji-web.co.jp/index.php>
「EXGEL(遅延回復粘弾性衝撃吸収材)」の販路・用途開発連携先開拓

総紹介件数 16件

第4回 創援隊交流会
【11月30日:京都会場 於:新・都ホテル(京都市南区)】

- (株) SOBAプロジェクト <http://www.soba-project.com>
「SOBA mieruka」の販路先開拓
ビジュアルコミュニケーション用のフレームワーク
- グローバルテック(株) <http://www.globally-tech.co.jp>
「AED(自動体外式除細動器)情報スタンド」の設置・販路先開拓
- Renbird(株) <http://renbird.jp/>
「ラックレンタル貸し出し・ストリーミングレンタルサーバー」の設置先及び技術開発等ソリューション先開拓
- (株) 加地 <http://www.kaji-web.co.jp/index.php>
「EXGEL(遅延回復粘弾性衝撃吸収材)」の販路・用途開発連携先開拓

総紹介件数 2件

経験豊富な企業OBによるネットワーク集団



～創援隊隊員として、あなたの経験を活かし企業をバックアップしてみませんか？

京都府と京都産業21では、創援隊隊員を募集しております。中小・ベンチャー企業の開発製品・技術支援等創業期にある企業の“商品の芽”を見つけ、市場要求にマッチさせていこうという想いをお持ちの方で、すでに企業を退職され、これまでの豊富な経験を活かしていきたいとお考えのOBの方は、是非とも創援隊隊員に登録していただきたいと思っております。詳しくはお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 お客様相談室

TEL:075-315-8660 FAX:075-315-9091
E-mail: okyaku@ki21.jp



創業・新事業目指す法人・個人のみなさんを支援いたします
中信ベンチャーローン

《お使いみち》

- 研究開発資金、事業展開に必要な運転資金・設備資金
- 新事業開始にともなう起業家創業資金

中信ベンチャーローンにて対応可能な先

- 京都府知事より「中小企業創造活動促進法*」の認定を受けた方
- 京都府知事より「中小企業新事業活動促進法」「中小企業経営革新支援法*」の承認を受けた方
- 立命館大学より「研究契約書」の発行を受けた方
- 京都市ベンチャー企業目利き委員会よりAランクの認定を受けた方
- 財団法人京都市中小企業支援センターが実施する企業価値創出支援制度において“オスカー認定”を受けた方
- 以下のインキュベーション施設に入居の方
 - ・「京都大学連携型起業家育成施設(通称:京大桂ベンチャープラザ)」
 - ・「立命館大学連携型起業家育成施設(通称:立命館大学BKCインキュベータ)」
 - ・「京都新事業創出型事業施設(通称:クリエイション・コア京都御車)」
 - ・「同志社大学連携型起業家育成施設(通称:D-egg)」
 - ・「京都桂新事業創出型事業施設」
 - ・京都府けいはんなベンチャーセンター・インキュベートルーム
 - ・龍谷大学エクステンションセンター・レンタルラボ
 - ・京都工芸繊維大学インキュベーションセンター
- 上記の他、当金庫が将来性・成長性ありと認める方

*現在「中小企業創造活動促進法」および「中小企業経営革新支援法」に基づく認定・承認は、法律改正により行われていません。ただし、法律改正施行日の平成17年4月13日以前に知事の認定・承認を受けている方は、平成22年4月12日までの間、本ローンの対象となります。

- | | |
|----------|--|
| 1. ご融資金額 | ・一企業1億円以内(無担保扱いは2千万円以内) |
| 2. ご融資期間 | ・運転資金: 7年以内(元金据置2年以内可)
・設備資金: 10年以内(元金据置2年以内可) |
| 3. ご融資利率 | ・変動金利: 新長期プライムレート即時運動型 |
| 4. ご返済方法 | ・元金均等返済または元利均等返済 |
| 5. 担保 | ・担保もしくは保証協会保証必要。ただし、無担保扱いも可 |
| 6. 保証人 | ・法人: 代表者1名(無担保扱いの場合社内保証人1名追加要)
・個人: 法定相続人(無担保扱いの場合別途事業従事者1名要) |

※お申し込みの際には、当金庫所定の審査をさせていただきます。審査結果によってはご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。窓口またはフリーダイヤル(通話料無料)0120-201-959(受付時間 9:00 ~ 17:00(当金庫の休業日は除きます))へお問い合わせください。

 京都 中央信用金庫

中小企業総合展2006 in Tokyo閉幕

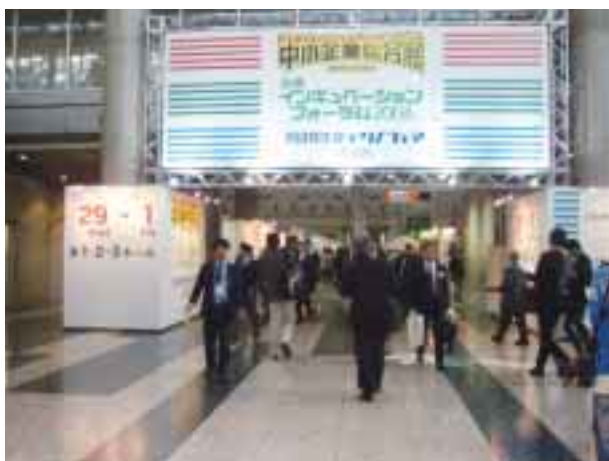
〈11月29日(水)～12月1日(金)東京ビッグサイト〉

～首都圏で新製品・技術をPR～

全国から選りすぐられた中小企業が、自ら開発した新製品・新技術・新サービス・新商品を一堂に展示し、出会いとビジネスチャンスの拡大を図ることを目的に、11月29日(水)から12月1日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて、「中小企業総合展2006 in Tokyo」が開催されました。(主催:独立行政法人中小企業基盤整備機構 後援:財団法人京都産業21ほか)

総出展企業数は、540社・団体(680ブース)で、京都府からは当財団枠の6社((有)イーダブルシステム、栄進電機(株)、(株)加地、(株)小堀、(株)積進、(株)松菱製作所)をはじめ17社・1グループが出展し、自社製品や技術を積極的にPRしました。

入場者数は47,797名を数え、来場者との商談・交流はもとより、出展社相互の商談・交流も多数見られました。



【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail: market@ki21.jp



地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから
モバイルコンテンツまで
多彩なデジタルエンターテインメントを
創造し、広く社会に貢献します。

株式会社 トーセ

〒600-8091京都市下京区東洞院通四条下ル
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営
グループ会社…株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA, Inc.

ホームページ <http://www.tose.co.jp/>

〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉

若者と中小企業とのネットワーク構築を推進中!!

～中小企業の皆様の若手従業員確保を支援します～

最近、景気は回復し、雇用情勢も改善傾向にあると言われてはいますが、若者の多くは就職先を考える場合に、まず最初に頭に浮かべるのは上場企業等の大手企業であると言われています。

このため、中小企業において若手従業員を確保するためには、大手企業等とは違う自社の魅力・強みや、若手求職者等が知りたいこと、聞きたいことを若手求職者等に対して明確に伝えていくことが大切です。

(財)京都産業21では、中小企業の人材確保における課題の解決を図るとともに、若者の効果的な就職支援を進めるため、「若者と中小企業とのネットワーク構築事業」(平成18年度新規、京都経営者協会受託事業)を京都府若年者就業支援センター(ジョブカフェ)と共に実施しています。 ※受講料は無料です(各コース定員20名 応募者多数の場合、抽選となります。)

本事業では、①若者の心を捉えるプレゼン力向上を図るため、「採用プレゼン」スキルアップセミナーの開催、②セミナー受講企業と若者の出会いを図るための「プレゼン交流会」等を実施しています。

中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナーの開催状況		
コース	開催日程	セミナー会場
京都府南部コース	平成18年9月5日、19日、10月3日、17日	宇治市産業振興センター
第1回京都市内コース	平成18年9月8日、22日、10月6日、20日	ぱ・る・るプラザ
京都府北部コース	平成18年11月8日、22日、12月6日、13日	京都府立中丹勤労者福祉会館
第2回京都市内コース	平成18年11月10日、24日、12月8日、15日	京都府産業支援センター
第3回京都市内コース	平成19年1月16日、24日、2月8日、14日	京都テルサ
計	5コース	

「プレゼン交流会」の開催状況	
開催日程	プレゼン交流会場
平成18年10月23日、24日	京都テルサ
平成19年1月19日	京都府若年者就業支援センター北部センター ※見学歓迎!
平成19年2月22日、23日	国立京都国際会館 *「京都ビジネス交流フェア2007」併催事業 ※見学歓迎!
計	3回

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail: market@ki21.jp

NISSIN

次代を築くクオリティ

私たち日進製作所は、創業以来60年にわたり、各種精密機械部品の製造を担ってきました。その歴史は更なるクオリティへの挑戦であり、過酷な条件下でも高い信頼性を今日まで守り続け、お客様が求めるニーズに対応すべく、獨創性・具現化・挑戦を続けております。

豊かな社会や未来といった次代を築くために、日進製作所はクオリティをもって貢献していきます。

— 営業品目 —

- ①自動車・オートバイのエンジン部品
- ②精密部品(工業用マシン部品)
- ③工作機械(堅型高速自動ホーニングマシン)



■ 超高精度穴加工機 セル型ホーニングマシン



■ ホンダ「オッドセイ」に搭載 バルブロッカーアーム



技術への挑戦は、人と未来のために
株式会社 日進製作所

「産学間の知的交流 —新しい価値の発見と具体化—」

京都大学国際融合創造センター

産学連携の扉を叩く

産学連携を実施するにあたって、相手となる教員を探索するためにまず手がけなければならないのは、産学連携の目的の設定およびその明確化です。どんな課題を解決したいのか、産学連携を通して何をしたいのかという目的をはっきりさせる必要があります。目的がはっきりしており、さらに、その内容まで明確化されていれば、適任の教員を見出すことは容易であり、その教員が連携を引き受けてくれる場合、成功する確率が高いものとなります。しかし、相手教員が産学連携に意欲的かどうか、また意欲的な場合でもすでにライバル企業と連携しているかもしれない、あるいは、どのように接触したらいいのかわからないなど、いざ実行に移す際に戸惑ってしまうことも多いのではないのでしょうか。

また、実際には産学連携の意欲があっても、もうひとつ課題や目的が絞りきれないことも十分考えられます。このような場合、連携先として選んだ本学で行われている研究に接して考えるのもひとつの方法だと思います。具体的には本学の刊行物やパンフレット、インターネットのホームページをご覧になったり、「京都産業21」をはじめとする産学連携支援機関を通じて本学の研究に関する情報を収集されることをおすすめします。しかし、それによってもなお、目的や課題を明確にするのが困難な場合があるかもしれません。また、いくつかのテーマを準備したものの、さらにそこから絞り込むのに苦慮することなども十分考えられます。

このように、産学連携の扉を叩く際の状況はさまざまであると考えられます。本学では、これらのすべてに対応すべく、産学連携の窓口を国際融合創造センターに設けています。

京都大学国際融合創造センター

当センター（センター長：牧野圭祐教授）は文部省（現 文部科学省）が進めてきた「共同センター」の京都大学版として2001年4月に学内に設置されました。

当センター融合部門の主な活動は以下の5つです。

(1) 包括的共同研究

特定の包括的テーマのもとに研究提案を学内公募し、複数研究室と複数異業種企業間などで大型の産学協同研究を企画・運営する

(2) 技術相談窓口

企業の研究開発や事業展開上の相談に対応できる教員を学内検索し、有料コンサルティングや共同研究への発展を支援する

(3) 産学協同研究コーディネート

教員からの依頼で教員とともに研究計画を作成し、企業にもち込む

(4) ベンチャー起業支援

外部専門家とともに教員のベンチャー起業を支援する

(5) 京大IIOフェア

教員の研究や技術をショートプレゼンとポスターセッションで紹介する

以下、これらのうち「京都産業21」の活動と関係の深い「技術相談窓口」について、紹介させていただきます。

技術相談窓口

企業の方が窓口にご相談してから目的を達成されるまでの道筋は一つではありません。相談内容が明確な場合、企業側のお考



人材派遣はパソナ。

- 人材派遣/請負
- 新卒派遣
- 人材紹介
- 再就職支援

ホームページ www.pasona-kyoto.co.jp/

株式会社パソナ京都

京都本社 TEL.075-241-4447
 京都市下京区四条通堺町東北角四條KMビル4階
 滋賀支店 TEL.077-565-7737
 草津市大路1-15-5ネオオフィス草津